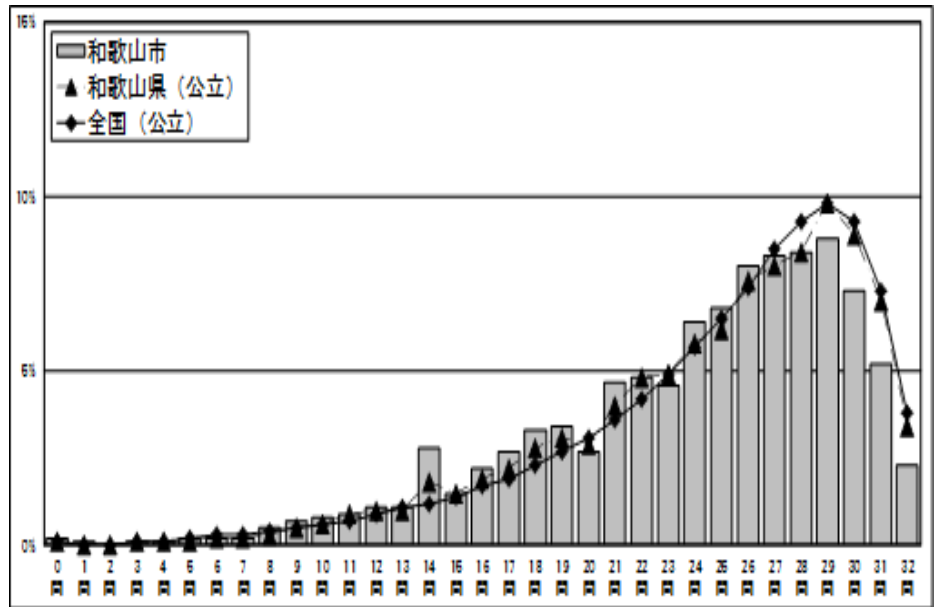


教科調査の分析より「中学校国語科」

国語A	平均正答率
和歌山市	7.4
和歌山県	7.7
全国	7.7

A問題では、4つの領域ともに昨年度より全国平均との差が縮まりましたが、まだ全国平均を下回っています。「話すこと・聞くこと」では4ポイント以上全国平均を下回っています。

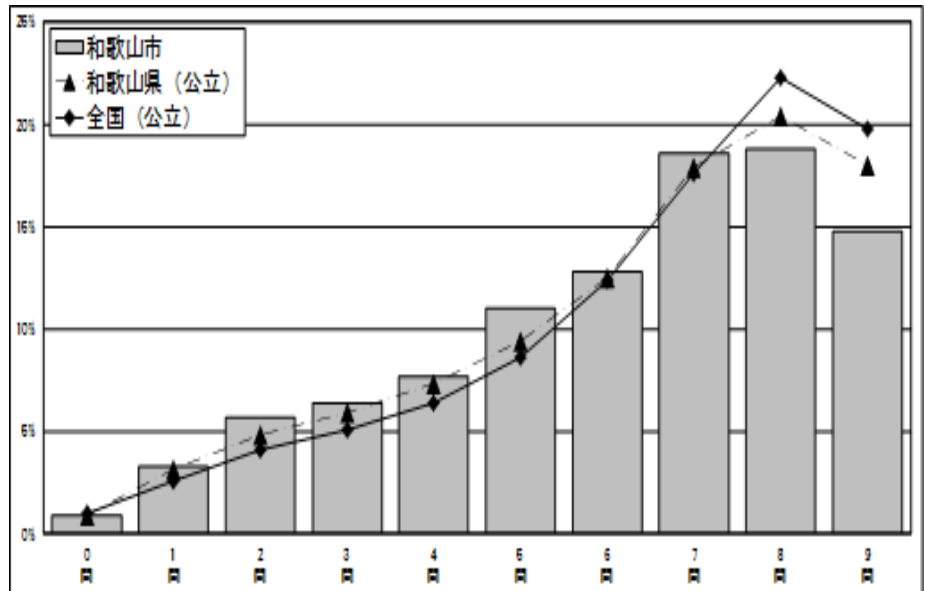


☆国語Aの設問に見られた和歌山市生徒の傾向

- 漢字を読む設問9-2(鮮やかな 正答率94.8% 全国比+0.3P)
- 古典には様々な種類の作品があることを知る設問9-7-2(「徒然草」の作品の種類として適切なものを選ぶ 正答率82.1% 全国比+3.6P)
- 文章の構成を工夫してわかりやすく書く設問5-1(【立候補者から】の欄の書き方を説明したものとして適切なものを選択 正答率72.7% 全国比-7.1P)
- 漢字を書く設問9-2(延期 正答率53.0% 全国比-9.3P)、9-3(営む 正答率79.0% 全国比-6.4P)
- 事象や行為などを表す多様な語句について理解する設問9-5(話し合いの記録として適切な言葉を考える 正答率29.6% 全国比-6.2P)

国語B	平均正答率
和歌山市	6.8
和歌山県	7.0
全国	7.2

B問題では、平均正答率が全国平均を下回りましたが、昨年度より5ポイント差が縮まりました。領域別では、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では全国平均より5ポイント以上下回りました。



☆国語Bの設問に見られた和歌山市生徒の傾向

- 表現の仕方について捉え、自分の考えを書く設問1-3(比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く 正答率34.8% 全国比-6.6P)
- 相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手にわかりやすく伝わるように工夫して話す設問2-3(スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す 正答率52.6% 全国比-5P)
- 集めた材料を整理して文章を構成する設問3-1(下書きについての説明として適切なものを選ぶ 正答率69.3% 全国比-6P)
- 目的に応じて必要な情報を読み取る設問3-2(太宰治と他の作家との関係を書き直したものとして適切なものを選択する 正答率72.1% 全国比-6.6P)